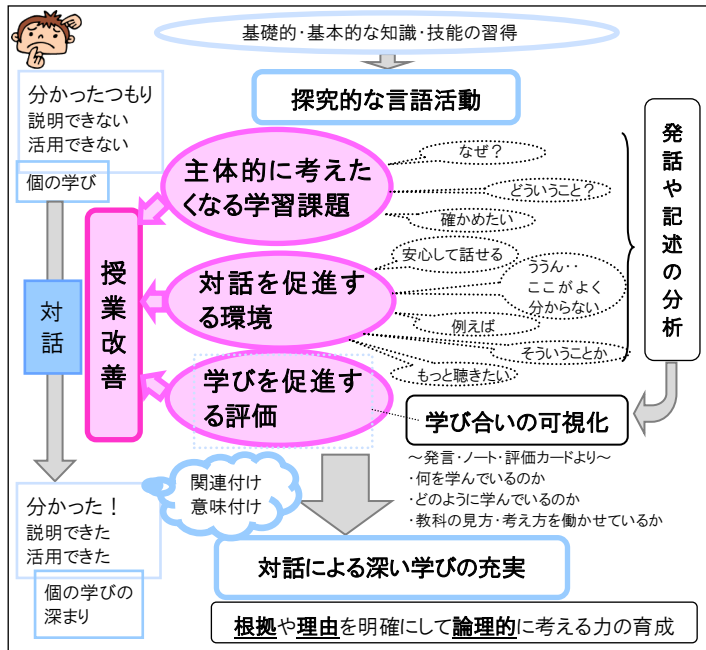


学校の教育課題解決のための調査・研究を行っています。

教育研修部 13:40~14:25

「主体的・対話的で深い学び」の充実を図る指導に関する調査研究
— 探究的な言語活動の視点から —

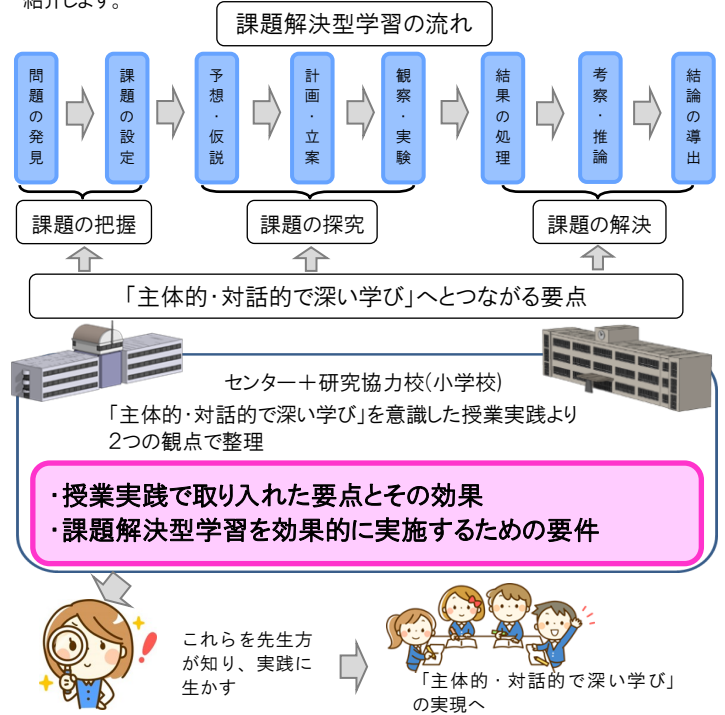
「探究的な言語活動を授業に取り入れることで、対話による深い学びの充実を図ることができるのではないか」という仮説を検証するために、「**学習課題**」「**対話の環境づくり**」「**評価**」の3つの視点で**授業改善**に取り組んでいます。「友達の考えを聴きたくなるような学習課題の工夫」「知識の関連付けや意味付けにつながる対話の場の設定」「対話スキルの育成に有効な評価カード」等の手立てが、個の学びの深まりに有効であることが分かりました。今後も個の学びの深まりに向けて、対話を取り入れた授業改善を進め、学校現場に紹介します。



科学情報部 14:35~15:20

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習の在り方に関する調査研究
— 観察・実験における課題解決型学習を活用した理科指導の充実 —

観察・実験を含む課題解決型学習の授業観察から、「**主体的・対話的で深い学び**」の実現につながる要点を整理し、その要点をもとに**授業改善**につながる「要件」を作成しました。その「要件」を取り入れ、授業実践を行い、児童の学習の質的向上を分析することで、「要件」の効果について考察しています。研究発表会では、授業改善につながる「要件」とそれをもとに行った課題解決型学習の実践事例を紹介しします。

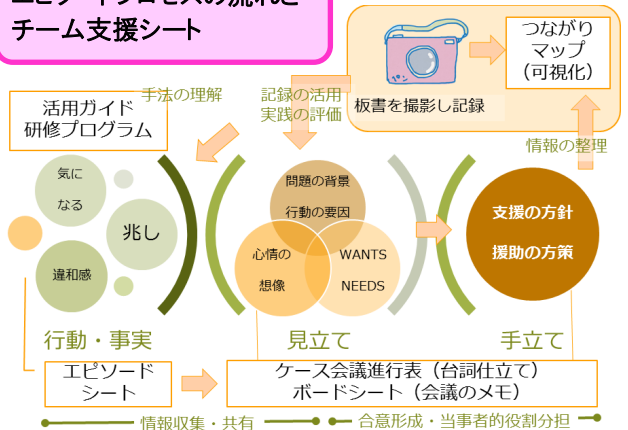


教育相談部 15:30~16:15

児童生徒へのチームによる支援の在り方に関する調査研究(2年次)
— 日常的・継続的な支援につながるエピソードプロセスの開発 —

困難な状況にある児童生徒への支援として、複数の教職員や専門スタッフによる協働的・機能的なチームによる支援が効果的です。情報共有と合意形成の場であるケース会議がチームによる支援を促進させると考え、児童生徒理解を基に、支援方針や援助策を検討するケース会議の仕組みとして「**エピソードプロセス**」(以下、ep)を開発しました。担任が気になるエピソードを基に、多様な視点から行動の背景や要因、心情の想像によって困難の状況を見立て、援助資源を活かしながら役割分担するまでを約30分間で進めます。epの仕組みに沿って、分かりやすく具体的な手順で進められるよう工夫した「**チーム支援シート**」を作成しました。研究発表会では、epの考え方やチーム支援シートの使い方について、学校支援訪問研修等で活用予定の研修プログラムを交えながら説明し、研究協力校等での具体的な用例を紹介します。

エピソードプロセスの流れと
チーム支援シート



チーム支援シート

